

科目責任者 稲田 俊一郎（英語・言語学研究室）

授業担当者 A 組：佐久間 健、B 組：関野 佳苗、C 組：大和 恵美

■教育目的（各クラス共通）

日常的な手紙や E-mail の書き方から論文の構成まで、文法、語彙の増強、パラグラフライティングなど総合的な英語作文能力を養う。

■学習到達目標（各クラス共通）

1. 口語的な英語の表現方法を習得することによって、手紙や E-mail など円滑なコミュニケーションを図る方法を身につける。
2. 英語の文章構成の技法を理解することによって、効果的なプレゼンテーションの方法を身につける。

■授業内容

A 組 佐久間 健

この授業の目的は、自分の考えを英文エッセイによって伝えるスキルを身につけることです。一学期を通して、最低 3 つ以上のパラグラフ（段落）から構成された英文エッセイを作成します。応用編として英文 email についても学びます。

読み手に何かを伝えるためには、文章を論理的に構成しなければなりません。第一に、英語での文章構成の基礎を身につけてから、パラグラフ構成の基本を学習します。一つのパラグラフにつき一つのアイディアが鍵です。それを冒頭で表すトピック・センテンスとその内容を詰めるサポート文を用い、一貫性のあるパラグラフを書きます。第二に、幾つかの種類のパラグラフを使いこなせるよう練習を重ねます。第三に、決められたトピックに関する自分の意見をエッセイにまとめます。パラグラフを組み合わせで説得力のある構成、内容に仕上げることを目指します。

また、学術論文等を作成するために不可欠なスキルとして、複数の資料を参照し、引用し、参考文献リストを作成することを学びます。

毎回授業の後半は実際に文章を書く作業をできるだけ多く取り入れます。最後の期末試験はこのコースで学習したことの理解を問う問題を出します。

準備学習（予習・復習）：予習：テキストの指示された部分をしっかりと予習してきてください。また授業内でエッセイを書く週は、何について書きたいかネタを集めてくると作業が進むでしょう。／復習：レポートの準備は基本的に授業時間外に行います。レポートは、辞書をこまめに引き、言葉の意味を吟味しながら書いてください。また、提出前に一度読み返し、間違いがないか、分かりにくい点をチェックして、必要があれば修正する習慣をつけてください。

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：クラス参加（出欠を含む、10 %）レポート（50 %）、期末試験（40 %）

教科書：『Skills for Better Writing』 石谷 由美子 他著 （南雲堂）

B 組 関野 佳苗

英語の基礎構造からパラグラフ・ライティングまで、英語を用いて論理的に意見を述べるために必要な技術を身につけることを目的とします。様々なパラグラフの実例を取り上げたテキストを用いて授業を進めていきますが、テキストには様々な Activity が含まれているので、毎回の授業までにある程度の量を読んで問題を解いていくことが必要となります。

また、グループによる Peer Review を通じて英文のチェックや英作文の作成を行い、SGD も取り入れ、グループメンバーやほかのグループの文章を参考にすることで個々人の英語力の向上を目指します。

準備学習（予習・復習）：予習：テキストの指定した範囲の Activity を解き、必要場合は語彙や表現を辞書で調べた上で授業に臨むこと（30 分）。

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：・テキストの練習問題に取り組むことで理解度を確認し、解説等によりフィードバックを行う。

・授業時に提示された課題を添削し、翌週返却する。

・授業に対する参加度、出席、課題の提出状況等の平常点（40 %）、期末試験（60 %）で総合的に評価する。

教科書：Great Writing Level 2, Cengage Learning

C 組 大和 恵美

本授業では、パラグラフ・ライティングの基礎的な技能習得を目指す。パラグラフの形式、構成の仕方などの説明から入り、実際に数種類のパラグラフ作成を通して英作文の基礎を身につける。モデル・パラグラフの読解と自由英作文ができる程度の基本的な英文法の知識を前提とする。授業の流れとしては、パラグラフの説明→アウトライン作成→下書き提出→添削→清書提出（手書き不可）となる。

準備学習（予習・復習）：教科書を授業内で丁寧に読んでいくというよりは、理解していることを前提として要点を簡単に確認するだけになるので、予習として指定された教科書の部分は必ず読んでおくこと。課題として自分の作成するパラグラフのアウトライン作成、下書き作成提出、および添削後の清書提出が求められる。

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：課題レポート（50～60 %）及び期末試験（40～50 %）

教科書：『パラグラフから始める英文ライティング入門』（研究社）をメインとし、必要に応じてプリントを配布する。